

新型コロナウイルス感染症のモニタリング状況

1 モニタリング状況（参考数値）

集計期間：令和2年8月10日（月）～令和2年8月16日（日）

指標		数値	前週	目安基準
(1)	直近1週間の新規陽性者数	122人	155人	—
(2)	直近1週間の人口10万人当たりの累積新規陽性者数 (陽性者数 / (153万人 / 10万人))	7.97人	10.13人	2.5人未満 ^{※1}
(3)	週当たりの陽性者増加比 (当該週の陽性者数 / 前週の陽性者数)	0.79	1.57	<1 ^{※2}
(4)	直近1週間の感染経路不明者の割合 (感染経路不明者数 / 陽性者数)	49%	56%	50%未満 ^{※3}
(5)	市内医療機関における入院中の患者数 ^{※4}	60人	54人	—
(6)	直近1週間の陽性率 ^{※5} (陽性者数 / 検査実施人数)	7.30%	7.17%	—

これらの数値は、速報値として公表するものです。

- ※1 神奈川県警戒アラート指標の基準を準用
- ※2 新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言（新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「緊急事態措置の解除の考え方」）より引用
- ※3 神奈川県の再警戒モニタリング指標の基準を準用
(再警戒基準：新規陽性者数が10人以上の時、50%以上)
- ※4 8月16日（日）現在の入院者数（前週分は、8月9日（日）現在の入院者数）
- ※5 健康安全研究所及び民間検査機関による検査実績から算出（本市発表外陽性者も含む）

2 評価

令和2年8月10日（月）～8月16日（日）の市内における新規陽性者数は、122人（前々々週65人、前々週99人、前週155人）と、やや減少となりました。(2)人口10万人あたりの累積新規陽性者数は、前週を下回りましたが、目安基準を上回っています。これに対し、(3)陽性者増加比と(4)感染経路不明者の割合については、目安基準を下回っています。一方、(5)入院中患者数と(6)PCR検査等の検査陽性率は、やや増加しています。入院中の患者さんの中には重症の方もおられます。できるだけ感染の広がりを少なくして、一人でも重症になる方を少なくするよう、御協力をよろしくお願いいたします。

お盆休みも終わりましたが、うだるような暑さが全国的に続いています。広い空間や戸外などでは新型コロナウイルスの感染のリスクは下がります。一方そのような状況のところでもしっかりマスクをつけていると、暑苦しく、口元が蒸れたり、さらには熱中症のリスクも高まります。水分を十分摂るとともに、三密が避けられているような所、特に戸外や風通しの良い所で、人と人の間隔が十分あいているような所では、マスクを外し、良い空気を吸うことも健康のために大切です。お出かけになるような時は、混雑する場所や時間帯はできるだけ避けて、家族単位などの少人数で、涼しめの所でゆっくりと過ごされることをお勧めします。